

第 2 回

学生生活実態調査結果報告書

令和 3 年度

桐生大学・桐生大学短期大学部

目 次

序 章 調査の概要	1
第Ⅰ章 基本的事項	
1～3. 調査対象人数及び回収率	3
4～6. 学習場所及び学習時間について	4
7. 学習環境について	5
8. 図書館を利用しましたか	5
9. 図書館の利用頻度はどのくらいですか(記入例：月5回、週2回等)	5
10. どのような目的で利用していますか(複数回答可)	6
11. 主にどの分野の図書を利用していますか(複数回答可)	6
12. 図書館の開館は何時まで(いつ)がいいと思いますか	7
第Ⅲ章 課外活動	
13. どのようなサークルに入っています(入っていました)か(複数加入している場合は主に活動しているもの)	7
14. サークルに入った理由はなんですか(複数回答可)	8
15. サークルでは1週間当たりどれくらい活動しますか	8
16. サークル活動と勉強は両立していますか	9
17. 今年度の大学祭に参加(出席)しましたか	9
18. なぜ大学祭に参加(出席)しなかったのですか(複数回答可)	10
第Ⅳ章 ボランティア活動	
19. ボランティア活動をしたことがありますか	10
20. ボランティア活動の情報をどこから入手しましたか	11
21. ボランティア活動はどのような内容のものでしたか(複数回答可)	11
22. ボランティア活動に何度参加したことがありますか	12
23. ボランティア活動に参加してどうでしたか	12
24. どのようなボランティア活動に興味がありますか(複数回答可)	13
第Ⅴ章 学生生活	
25. 学内は全面禁煙である事は知っていますか	13
26. あなたは喫煙しますか	14
27. 現在、何かに悩んでいることがありますか	15
28. どのようなことに悩んでいますか。もしよかったら、教えてください(複数回答可)	15
29. 悩みがあると、どのような人に相談しますか(複数回答可)	15
30. 保健室がある事を知っていますか	16
31. 保健室を利用した事がありますか	16
32. 保健室を利用した時の印象はどうでしたか	17
第Ⅵ章 進路(就職・進学)	
33. 卒業後はどのような進路を考えていますか	17
34. 卒業後、どのような職業に就きたいですか	18
35. 就職する地域はどこを希望していますか	18

36. 本学の就職のサポート体制に満足していますか	19
37. 就職の相談は誰にしますか	19
38. 本学の就職のサポート体制に対してどのようなことを希望しますか(複数回答可)	20

第Ⅶ章 住居・通学

39. 住んでいるのは自宅ですか。自宅以外ですか	20
40. 自宅以外なら、どのような所ですか	21
41. 本学まで主にどのような交通手段を使っていますか(複数回答可)	21
42. 自動車で通学している場合、どこに駐車していますか	22
43. 通学にかかる片道の所要時間はどれくらいですか	22

第Ⅷ章 アルバイト

44. アルバイトをしましたか	23
45. どのようなアルバイトをしていますか	23
46. アルバイトは1週間の平均で何時間くらいやっていますか	24
47. どこでアルバイト先を見つけましたか(複数回答可)	24
48. アルバイトと学業は両立していますか	25
49. アルバイトをしてどうでしたか(複数回答可)	25

第Ⅸ章 食生活

50. 朝食を摂っていますか	26
51. 朝食を摂らない理由は何ですか	26
52. 昼食は主にどこで摂っていますか	26
53. 夕食は主にどこで摂っていますか	27
54. エレガンテ(売店)は週にどれくらい利用していますか	27
55. エレガンテ(売店)はどうして利用しないのですか(複数回答可)	28

第Ⅹ章 その他

56. 本学は自由に外部の人が出入りできるようになっていますが、それによって身の危険や不安を感じたことがありますか(大学周辺も含む)	28
57. どこで、危険や不安を感じたか具体的に記入してください	29
58. ジェンダーバイアス(男女の違いによって生じる偏見、評価や差別)を感じたことがありますか	29
59. どのような場面で感じたか具体的に記入してください	29
60. 大学からの学生への情報の発信の媒体として何がいいと思いますか(複数回答可)	29
61. 桐生大学内の生活の中で、大学に対して改善してほしい点がありますか(特にない場合は特になしと記入してください)	29
62. 桐生大学内の生活の中で、不満に思うことはありますか(特にない場合は特になしと記入してください)	29
63. 協力ありがとうございました。意見などがあったら、記入してください(特にない場合は特になしと記入してください)	30

巻末資料

1. 委員会の構成メンバー	31
2. 総括	32

桐生大学・桐生大学短期大学部教育組織概説図

医療保健学部(4年)
看護学科
栄養学科

短期大学部(2年)
生活科学科
アート・デザイン学科

別科(1年)
別科助産専攻

序章 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、桐生大学・桐生大学短期大学部の学生の生活実態を把握し、今後の学生のための厚生施策の充実、教育・研究環境の改善及びサービスの向上等に役立たせるための資料を得ることを目的として実施した。

2. 調査の実施

学生へのより良いサービス向上等に資するため学生委員会において、調査内容の企画立案、調査票を作成し、実施した。

3. 調査の対象

令和4年3月1日現在で本学に在籍している全学生を対象とした。

ただし、休学者、研究生、聴講生及び科目等履修生の学生は除いた。

4. 調査の時期

令和4年3月7日(月)～3月31日(木)

5. 調査の方法

学生ポータルにて開始を案内し、Microsoft Formsにて実施した。対象者が設問に解答していく方式とした。

学生生活実態調査：調査結果要旨

2022 年 3 月、「学生生活実態調査」として、学生の経済的状況、学習状況、課外活動、生活全般、将来の希望進路についてアンケート調査を実施した。

本調査では、738 名の調査対象学生に対して 172 名から回答を得ました（回収率：23. 3%）。

昨年度に引き続き令和 3 年度も COVID-19 により教育活動に変更・自粛が強いられ、極めて特異的な状況下での調査結果となっている。以下、調査結果の概要を示す。

学修状況・学習環境： 桐生大学・桐生大学短期大学部の学生は、11 号館レストランのラウンジや、空き教室を使って勉強している。所属する学科の実習室、図書館なども活用している。多くの学生が授業の予習や復習、国家試験対策の勉強をし、また作品づくりなどでも学内で多くの時間を費やしている。大学の周囲に公共図書館や勉強できるスペースなどがいないため、キャンパス内で学習することが多い傾向にある。

課外活動： 本学でのサークル活動それほど盛んではない。体育系サークルや文科系サークルの結成数はそこそこ多いがサークルに所属する学生はそれほど多くはない。講義に加え、実習や演習、実技の課題などがあり、サークル活動に費やす時間がとれないようである。サークル活動に入る学生は、それが好きである、健康になれる、友達ができる、グループ活動が好ましいことであるといった理由で所属していると回答している。一週間に 2 時間以下の活動がメインである。

ボランティア活動： 課外活動と同様に、ボランティア活動についても、かかわりのある学生はそれほど多くはない。授業や実習等の時間が多いため、ボランティア活動まで手が回らない状況である。ボランティアは有意義な活動であるから、大学としてボランティア活動について情報をあつめ、授業時間とリンクさせて、自発的に活動できるような体制づくりを目指したい。

学生生活： 本学では多種類の免許や資格が取得できるが、それでも多くの学生が就職や進学について悩みを抱えている。学習面での不安や経済的な困難を抱えている学生もいる。現在、各クラスに担任や副担任をつけて学生の生活相談にのってもらっているが、より手厚いサポートが必要かと思われる。

進路： 本学の学生の 8 割から 9 割が就職を希望している。看護師や管理栄養士、デザイナーや医療事務の仕事に就くこともある。勤務地として群馬県や栃木県、長野県、新潟県、首都圏で働くことが多い。各学年でキャリアガイダンスを行っているが、就職支援の満足度が低いので、より多くの場面で仕事の意義や就職活動の進め方についてレクチャーできればと思う。就職について身近な教員に相談するケースが多いので、教員へのキャリアサポート教育も必要かと思われる。

住居・通学： 本学に通う学生の 8 割が自宅から通学している。残り 2 割がみどり市や桐生市でアパート借り一人暮らしをしている。一人暮らしをする女子学生が少なくないので防犯教育や一人暮らしのノウハウについてのレクチャーをしたりしている。通学手段として、スクールバスや自動車でくる学生が多い。自動車で通学するときの事故がたまにあるので、学生への注意を促していきたい。

アルバイト： 6 割から 7 割の学生がアルバイトをしている。アルバイト先として飲食業や販売業が多い。自宅やアパートから通える近場での仕事が多い。大学内でもアルバイト情報を掲示し紹介している。学業に支障をきたさない範囲でアルバイトをするようクラス担当教員が指導している。

食生活： 7 割程度の学生が朝食を食べてきている。昼食も弁当を持参したり、学内の売店で買ったりしている。隣接するやましろやで購入すること多い。大学の周囲には飲食店や衣料品店などがあり、学生が生活するうえで利便性が高い。

その他： 学生の連絡手段が情報通信メディアを中心としたものに変化している。大学としても授業休校や行事の実施等の連絡が速やかに行くよう HP や情報機器の充実に努めなければならないと考えている。

第Ⅰ章 基本的事項

1～3. 調査対象人数・回収率

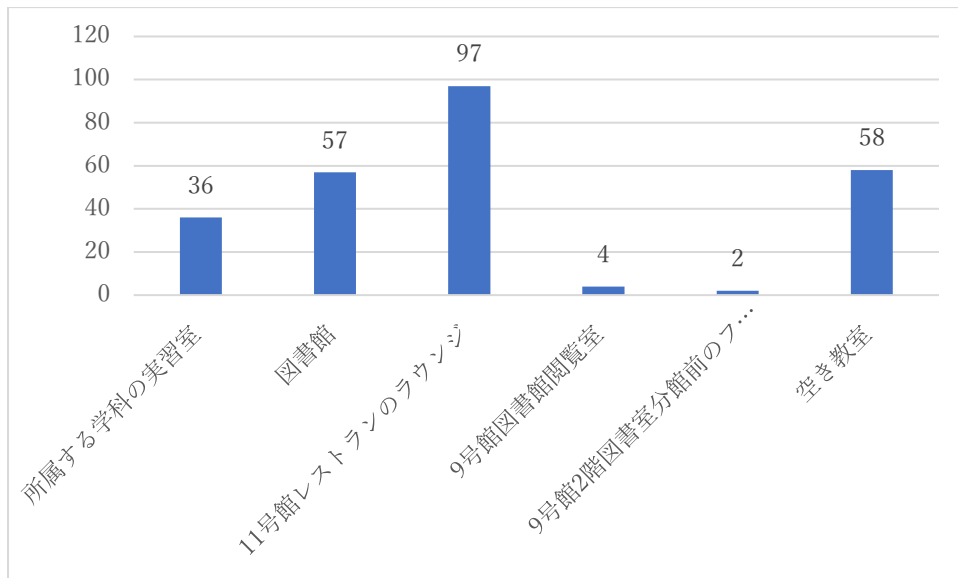
対象学生 738 人に対して、172 人からの回答を得た。回収率は、全体で 23. 3%であった。全体の 23%の回収率ではあるが、本学学生生活の実態を十分に反映しているものと思われる。学科別では看護学科が 18. 5%、栄養学科が 32. 5%、別科助産専攻が 11. 7%、生活科学学科が 18. 3%、アート・デザイン学科が 24. 7%の回収率であった。

学科名	対象学生人数(人)	回収数(人)	回収率(%)
看護学科	323	60	18. 5
栄養学科	206	67	32. 5
別科助産専攻	17	2	11. 7
生活科学学科	71	13	18. 3
アート・デザイン学科	121	30	24. 7
全体	738	172	23. 3

第Ⅱ章 学業・学習環境

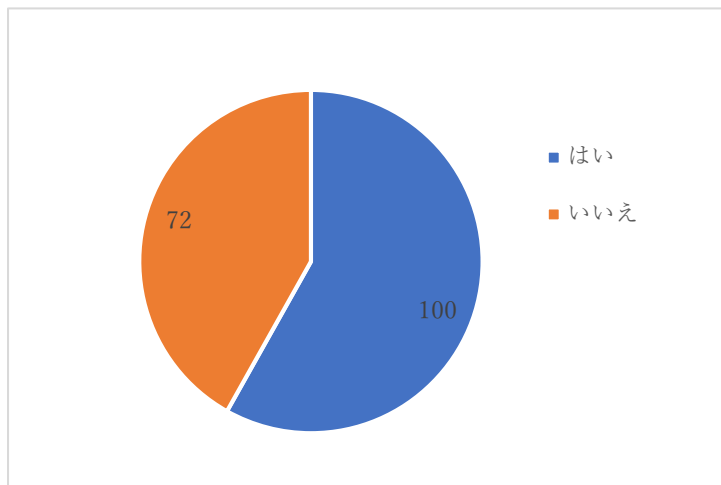
4. 学内ではどこで勉強していますか(複数回答可)

回答者の 26%が 11 号館レストランのラウンジで勉強している事が見て取れた。



5. 予習・復習(作品制作などを含む)をしていますか

回答者の 58%の学生が予習及び復習を行っており、勉学に積極的に取り組んでいる結果となった。

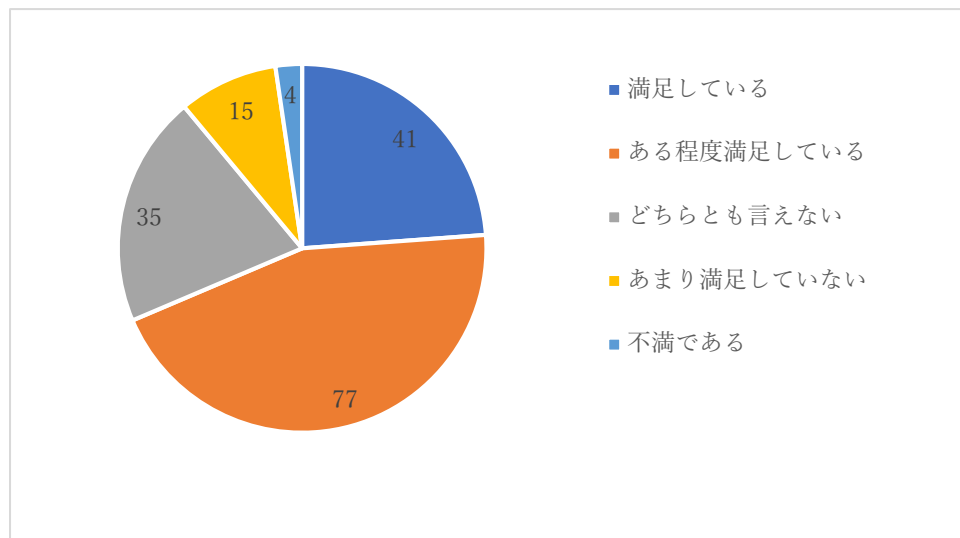


6. 1 週間の予習・復習(作品制作などを含む)の時間は合計でどのくらいですか(記入例：1 時間)

詳細時間回答者（100名）の平均は 5.7 時間（最短 1 時間～最長 40 時間）であった。

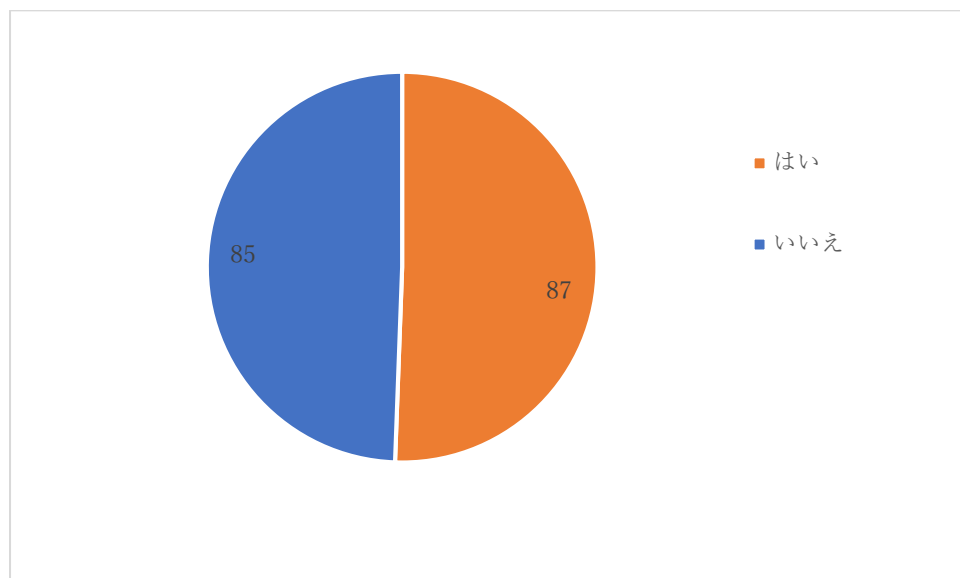
7. 講義室・実験室などの教育環境には満足していますか

満足（24%）・ある程度満足（45%）を合わせると、約7割が教育環境に満足していると回答している。



8. 図書館を利用しましたか

回答者の約51%が図書館利用経験があると回答している。

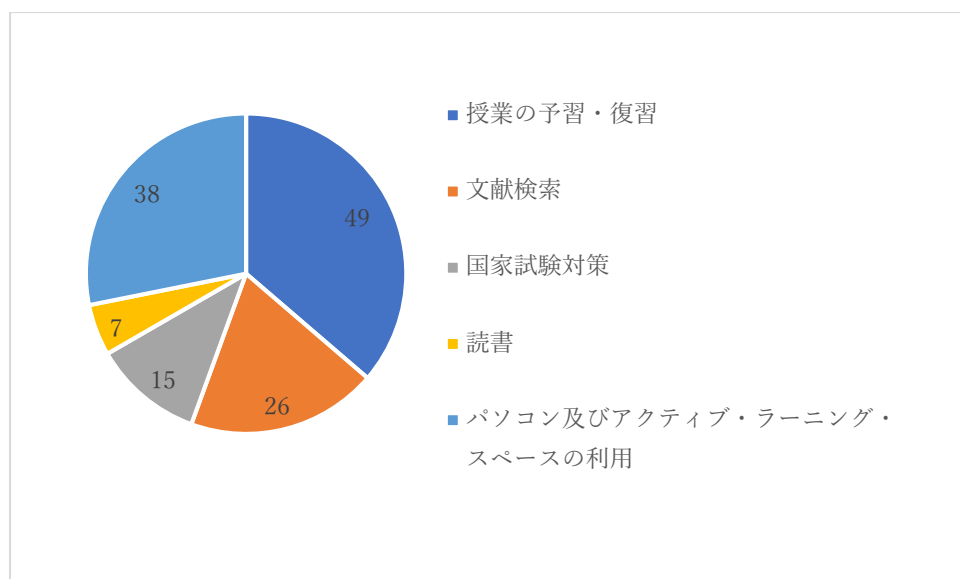


9. 図書館の利用頻度はどのくらいですか(記入例：月5回、週2回等)

利用回答者の内約3割が月1回、次いで月2～3回と回答。テストや実習期間に集中して利用している回答もあった。

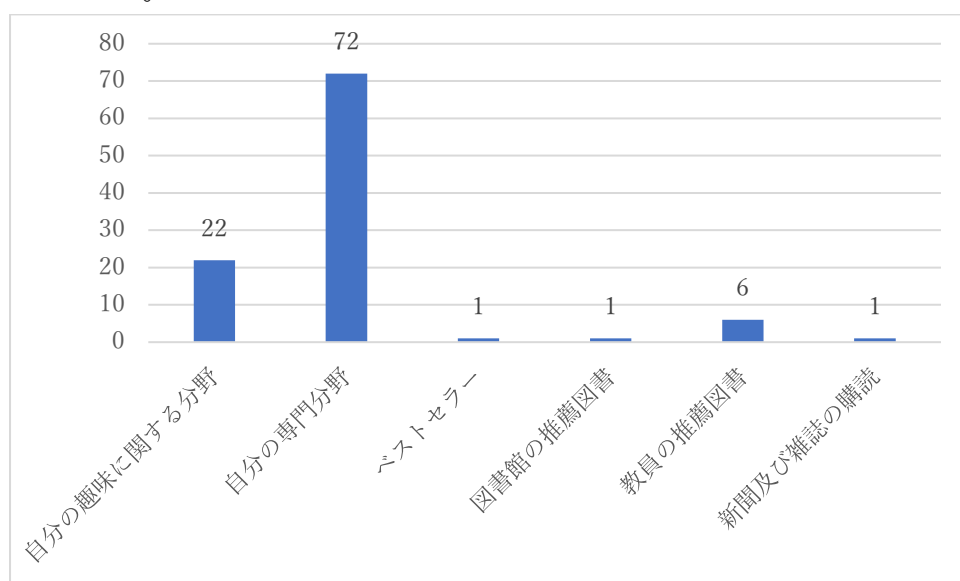
10. どのような目的で利用していますか(複数回答可)

利用目的は授業の予習・復習が最も多く（36％）、パソコン関係（28％）文献検索（19％）と続いている。



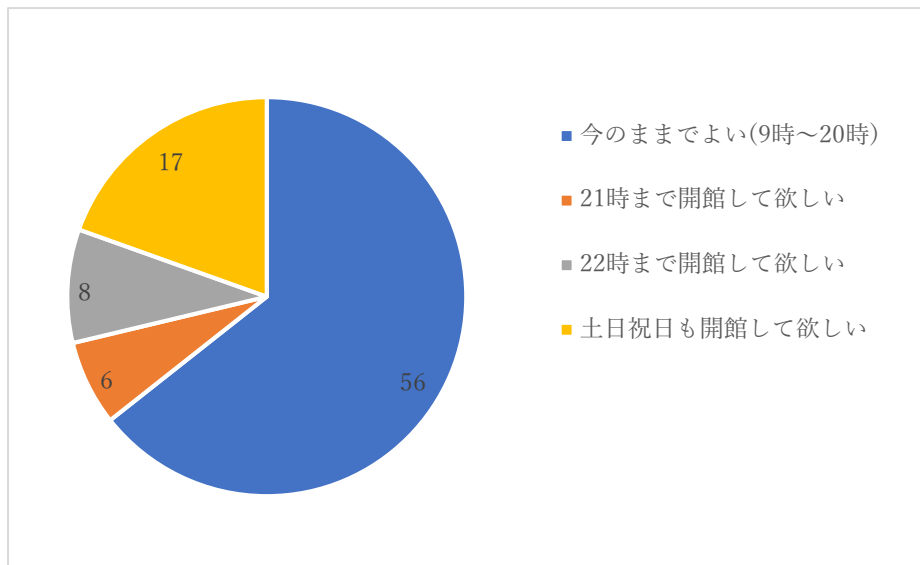
11. 主にどの分野の図書を利用していますか (複数回答可)

自分の専門分野に関する図書の利用が7割程度で、趣味に関する図書が2割で、そのほかは非常に少なかった。



12. 図書館の開館は何時まで(いつ)がいいと思いますか

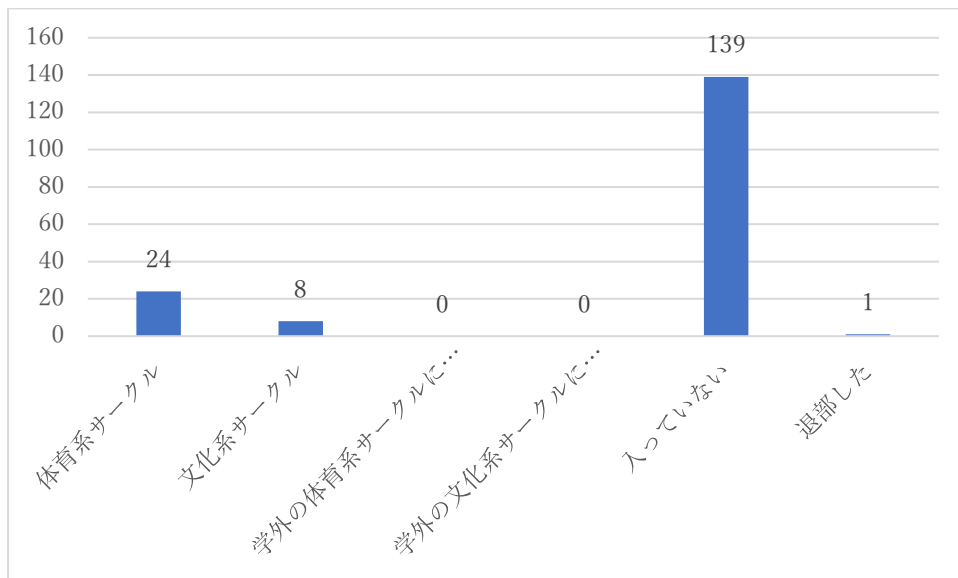
現状で良いが半数を超えているが、2割の学生が土日開館を望んでいた。



第Ⅲ章 課外活動

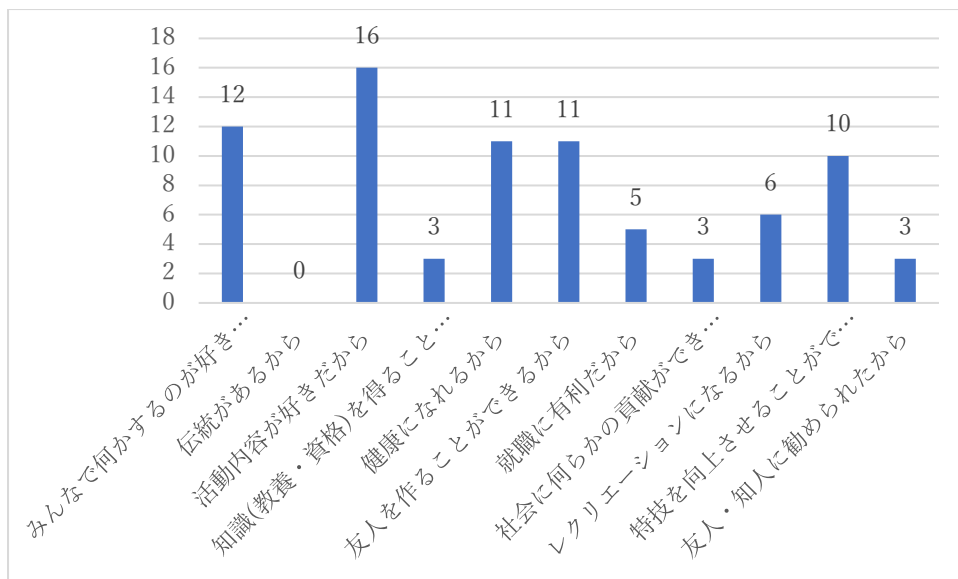
13. どのようなサークルに入っています(入っていました)か(複数加入している場合は主に活動しているもの)

ほとんどの学生がサークルに入っておらず、一部、体育系サークルに所属している。



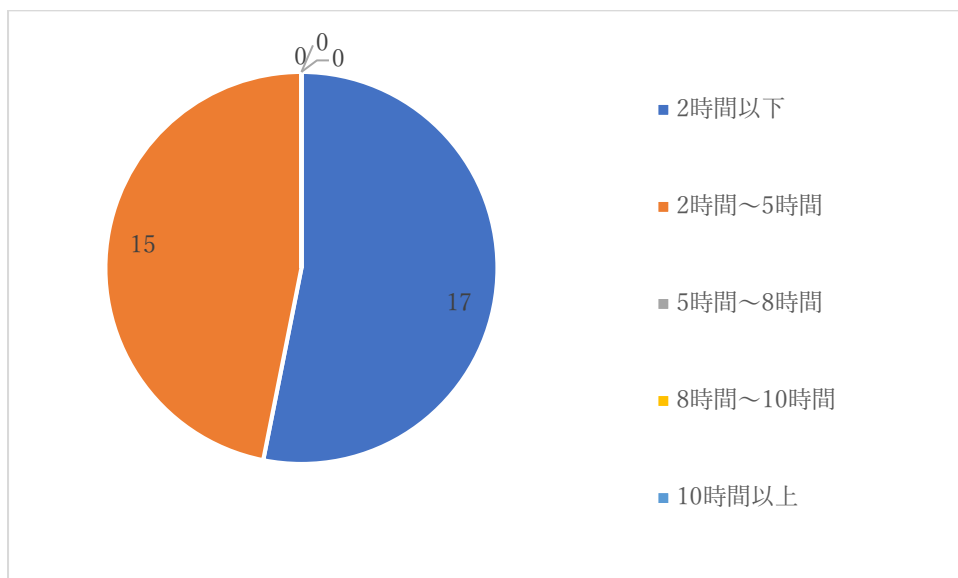
14. サークルに入った理由はなんですか(複数回答可)

さまざまな理由でサークルに入っているが、仲間づくりや特技などの理由が多いようだ。



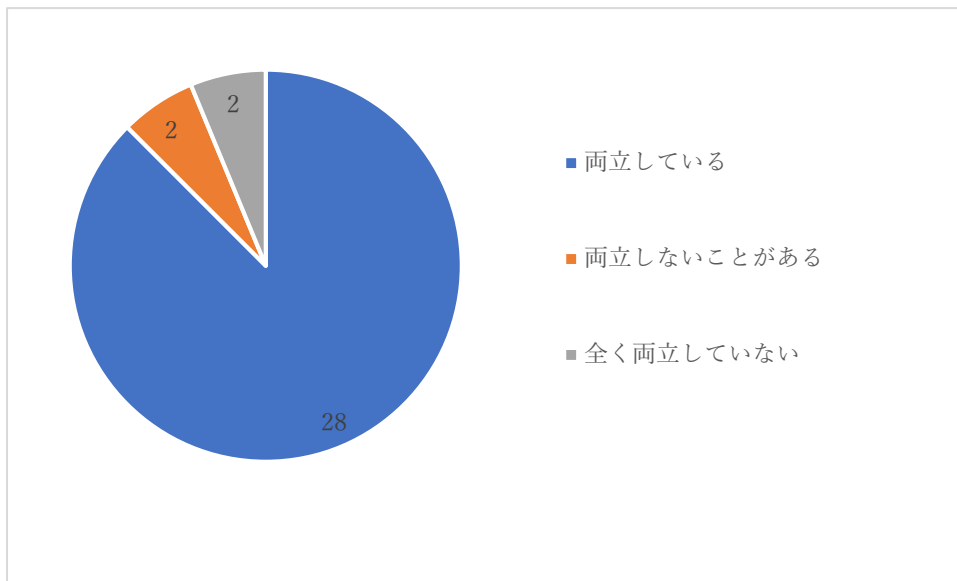
15. サークルでは1週間当たりどれくらい活動しますか

週5時間を超える活動のサークルはなく、半数は2時間以下の活動であった。



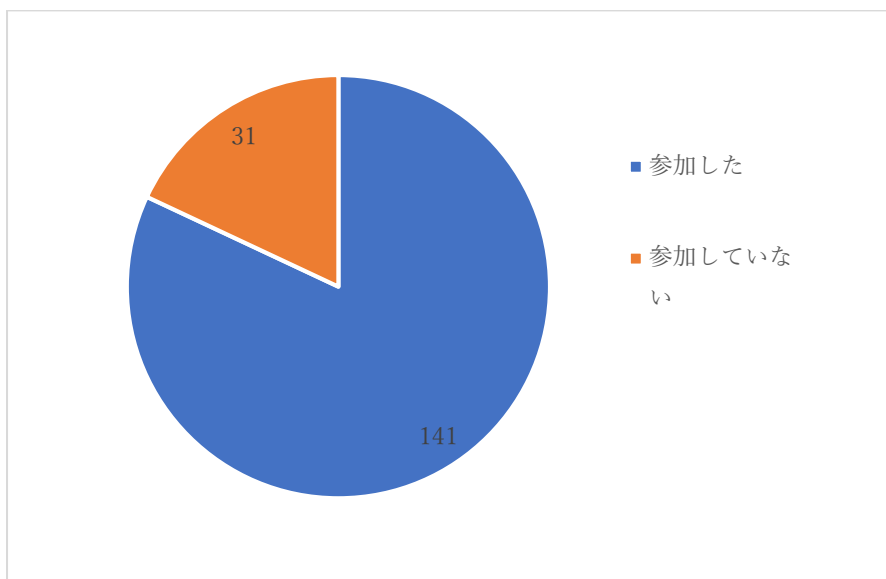
16. サークル活動と勉強は両立してますか

サークル活動に参加していると回答した学生の内、そのほとんどが「サークル活動と勉強を両立している」と回答した。



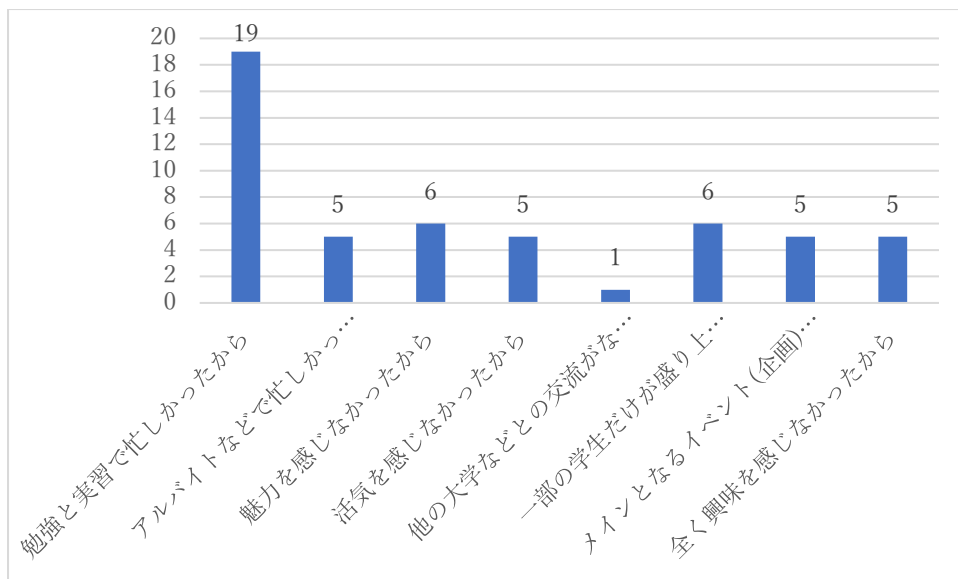
17. 今年度の大学祭に参加(出席)しましたか

大学祭に参加したと回答した学生は8割で、2割は参加しなかった。



18. なぜ大学祭に参加(出席)しなかったのですか(複数回答可)

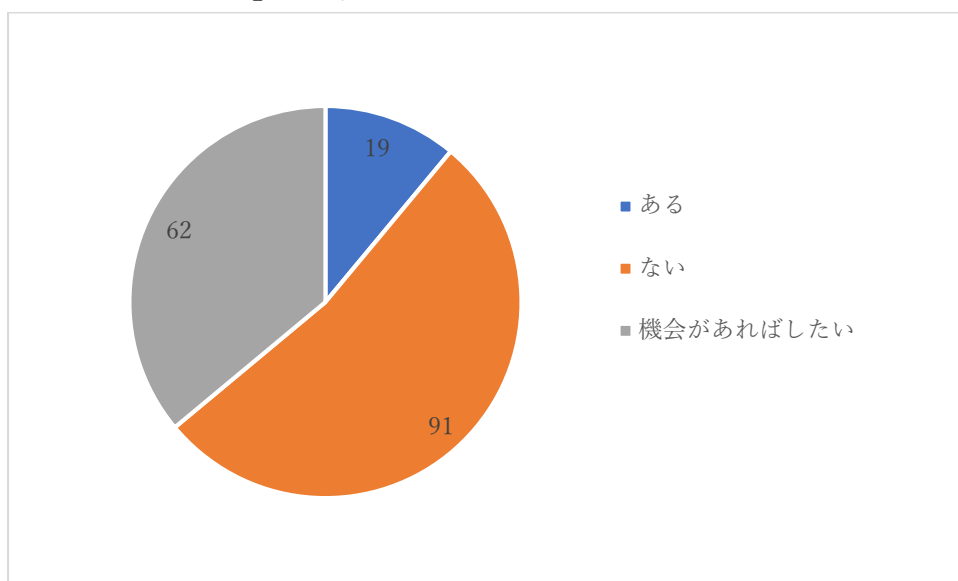
大学祭に参加しなかった理由として、最も多かったのは「勉強と実習で忙しかったから」であった。



第IV章 ボランティア活動

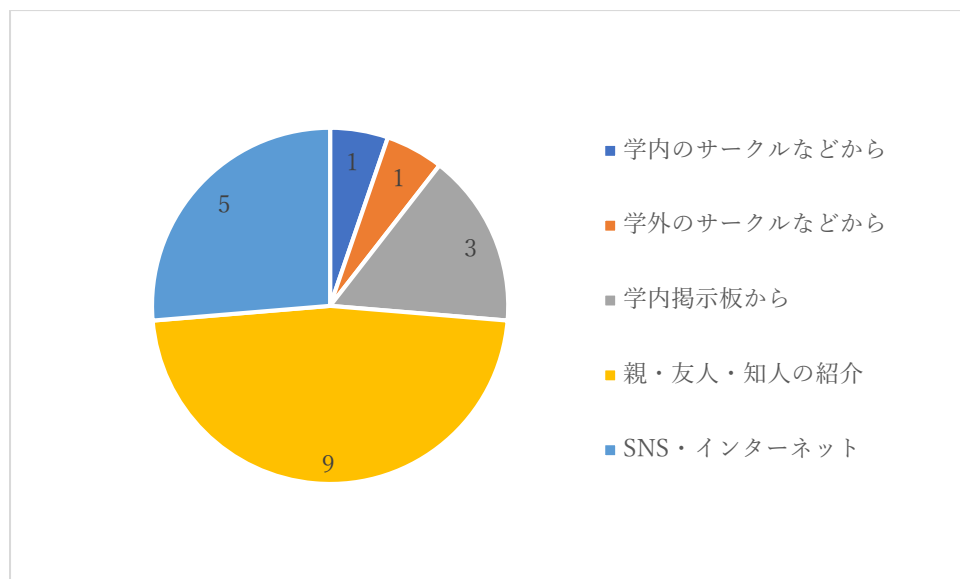
19. ボランティア活動をしたことがありますか

ボランティア活動の経験が「ある」は約 1 割で、約半数は「ない」と回答した。全体の約 4 割が「機会があればしたい」と回答した。



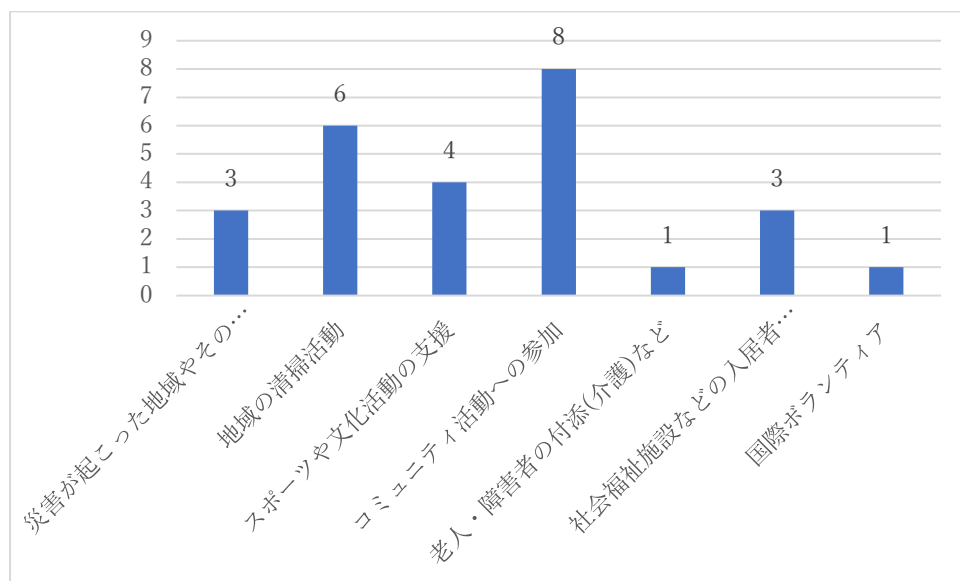
20. ボランティア活動の情報をどこから入手しましたか

「親・友人・知人からの紹介」が最も多く、「SNA・インターネット」「学内掲示板」の順で、情報を入手していた。



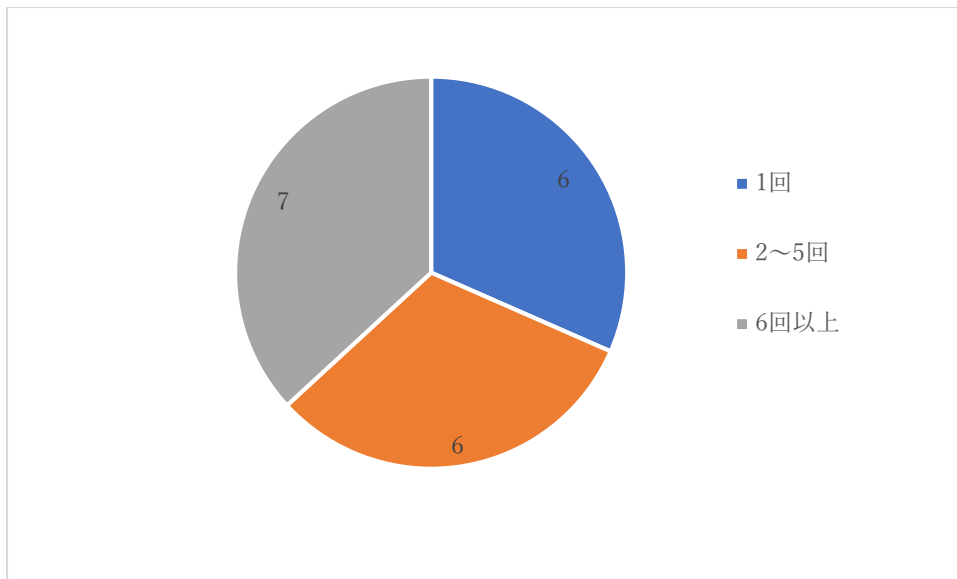
21. ボランティア活動はどのような内容のものでしたか(複数回答可)

コミュニティ活動への参加が多かった。



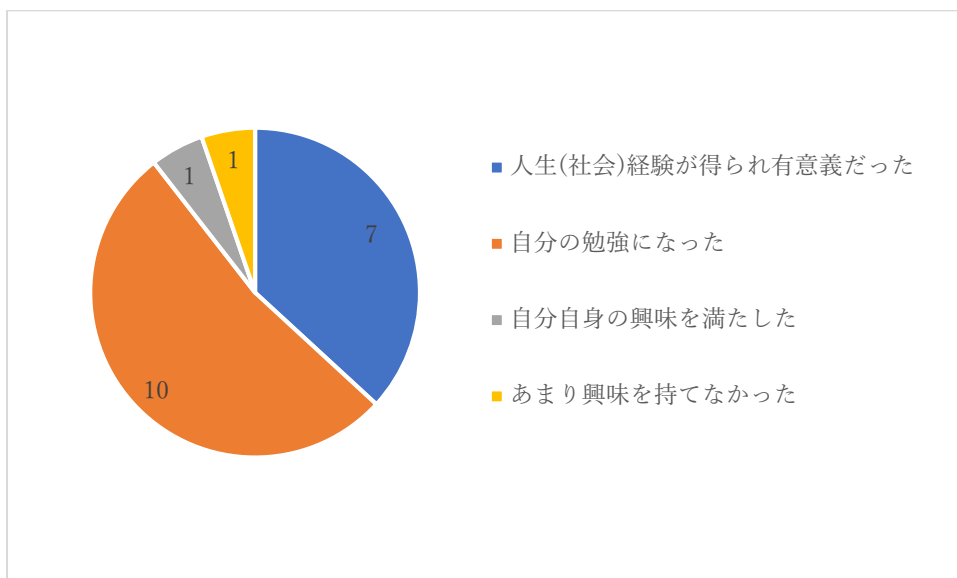
22. ボランティア活動に何度参加したことがありますか

1回のみ参加したことがある者と、複数回参加したことがある者がほぼ同数であった。



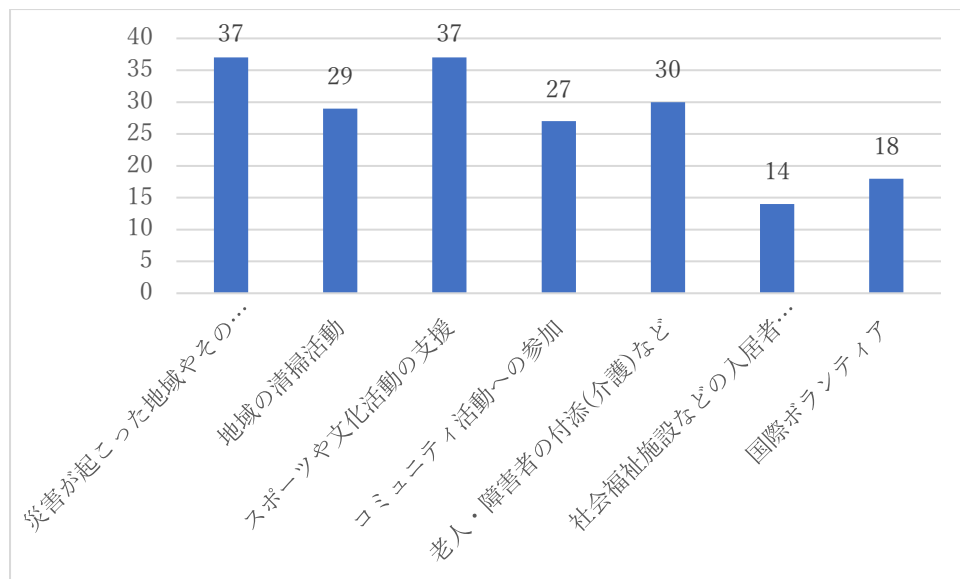
23. ボランティア活動に参加してどうでしたか

ボランティア活動は自分の勉強になった、との感想が半数以上であった。



24. どのようなボランティア活動に興味がありますか(複数回答可)

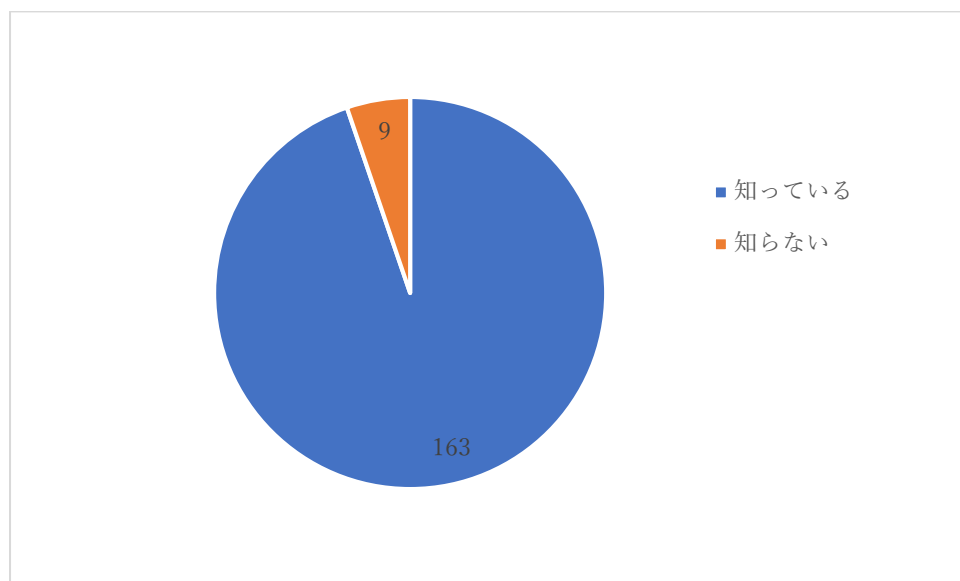
災害が起こった地域やその被災者へのボランティアとスポーツや文化活動の支援が同数であった。



第Ⅴ章 学生生活

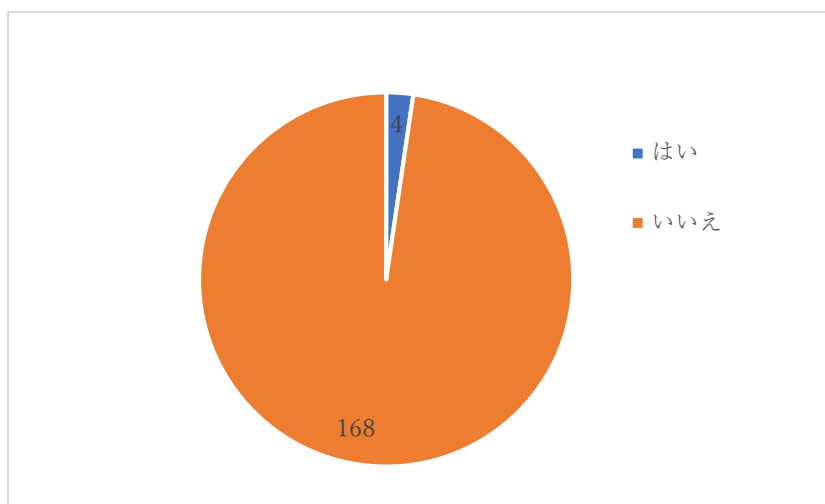
25. 学内は全面禁煙である事は知っていますか

学内が全面禁煙であることは、ほとんど周知がなされている。



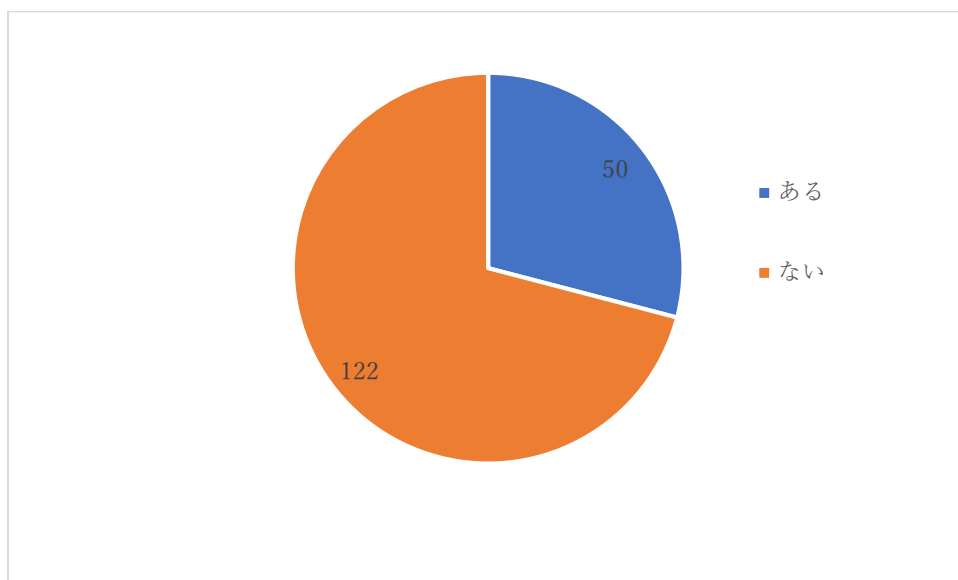
26. あなたは喫煙しますか

約 97%の学生が喫煙をしないと答えた。



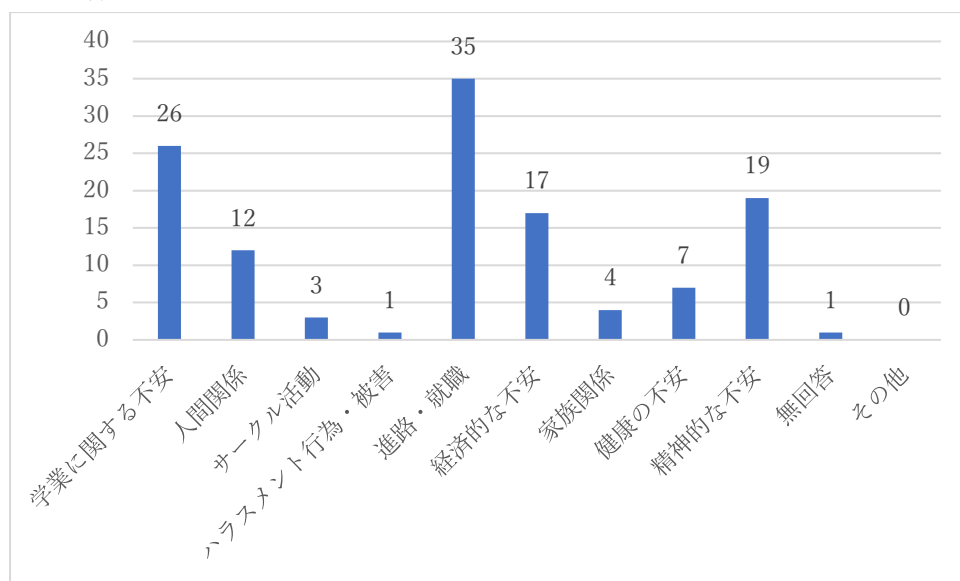
27. 現在、何かに悩んでいることがありますか

何らかの理由で悩んでいる学生が全体の約 3 割いることが分かった。



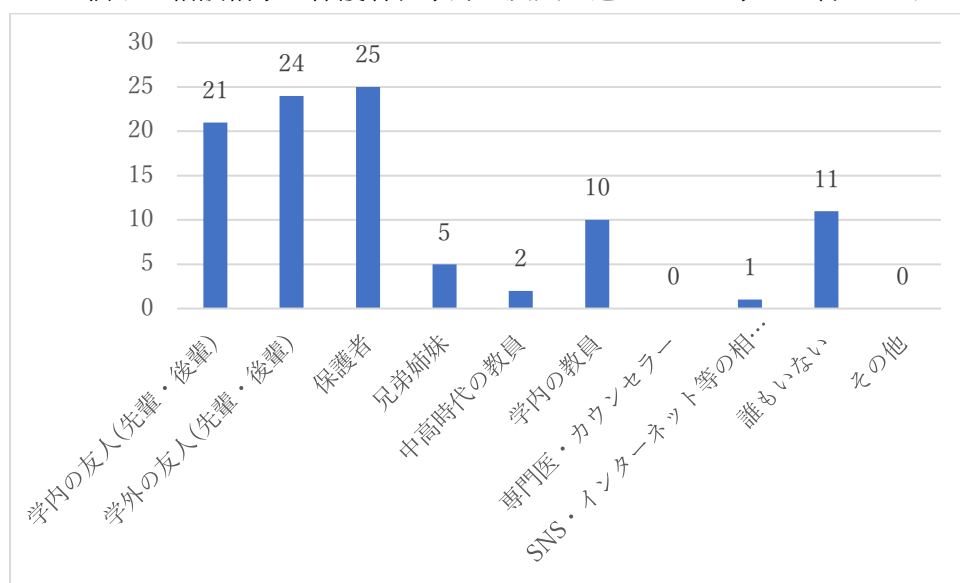
28. どのようなことに悩んでいますか。もしよかったら、教えてください(複数回答可)

上記の中で進路・就職に悩んでいる学生が全体の 20%、次いで学業に関する不安を抱いている学生が全体の 15%いた。



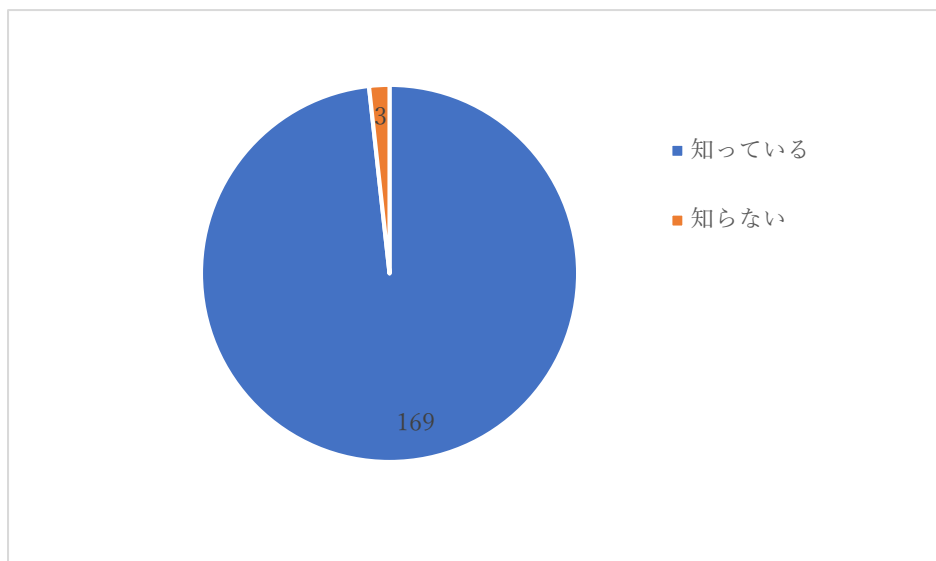
29. 悩みがあると、どのような人に相談しますか (複数回答可)

悩みの相談相手に保護者、学外の友人を選んでいる学生が約 15%ずついると回答された。



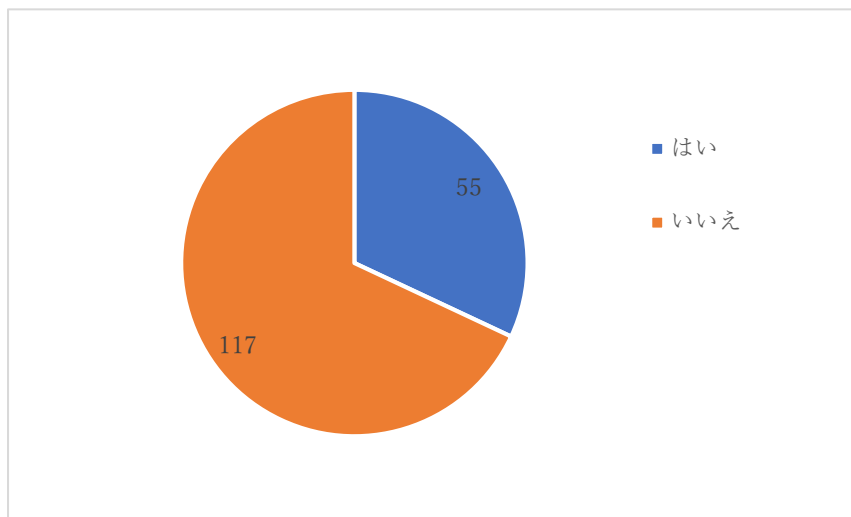
30. 保健室がある事を知っていますか

概ね保健室があることを知っているとは回答しているが、約 1%の学生が知らないと回答した。



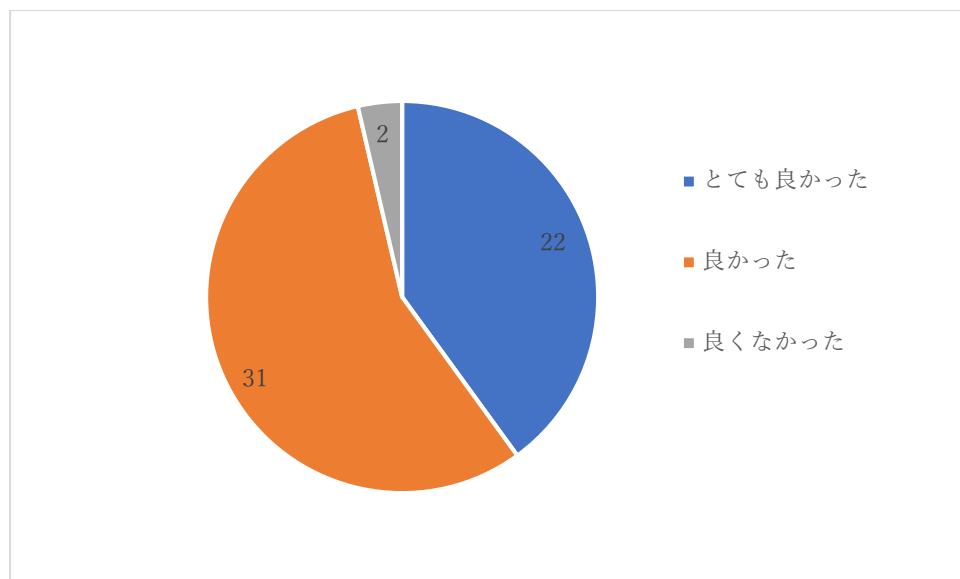
31. 保健室を利用した事がありますか

現状では保健室の利用が半数以下であるが、体調不良を感じたときには積極的に利用してもらいたい。



32. 保健室を利用した時の印象はどうでしたか

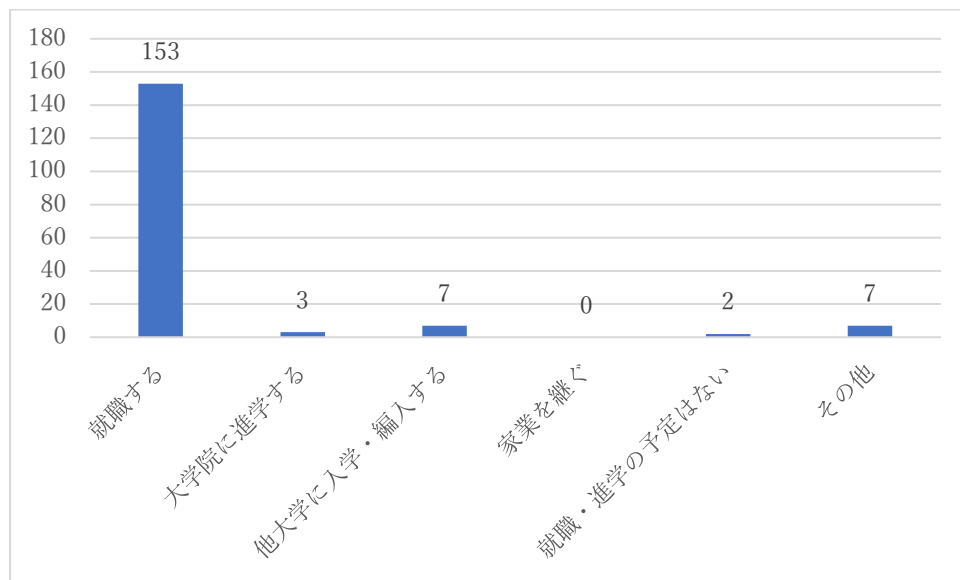
保健室を利用した中ではおおむね良かったと回答している。保健室の対応について特段改善点はないと考えられる。



第VI章 進路(就職・進学)

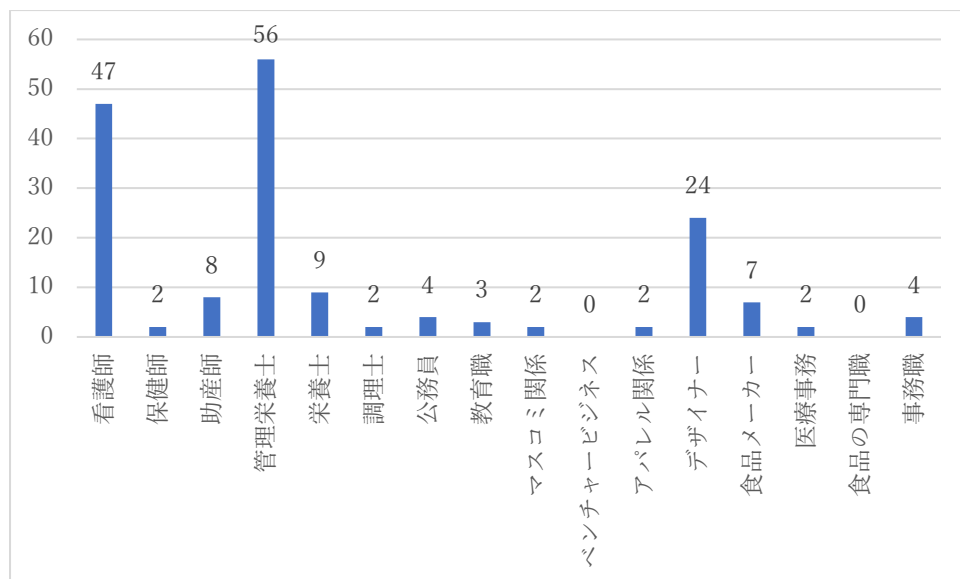
33. 卒業後はどのような進路を考えていますか

ほとんどが就職を希望しているが、中には編入や大学院への進学を希望している学生もいるので、サポート体制を整えていきたい。



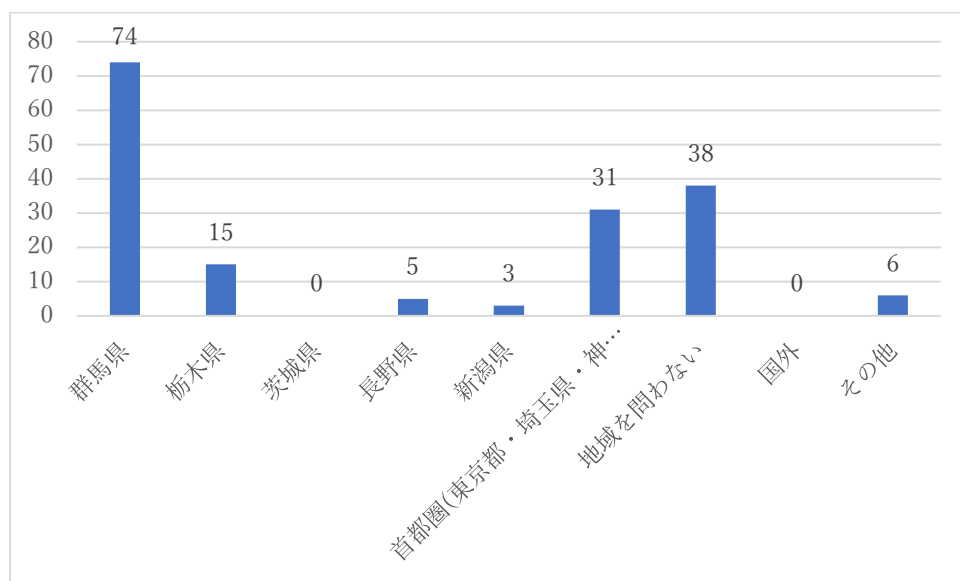
34. 卒業後、どのような職業に就きたいですか

大半が自身の今後取得できる資格に関連した就職先を考えているため、国家試験合格のサポートを行っていきたい。



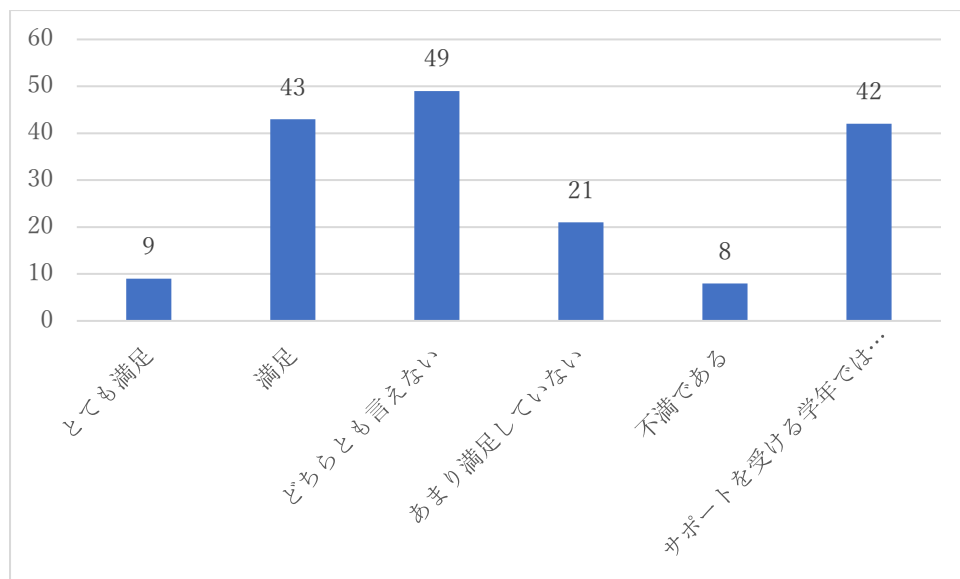
35. 就職する地域はどこを希望していますか

群馬、栃木に集中しているが、地域を問わないという学生も多くいるために、就職後の生活について不安が残ることが懸念される。



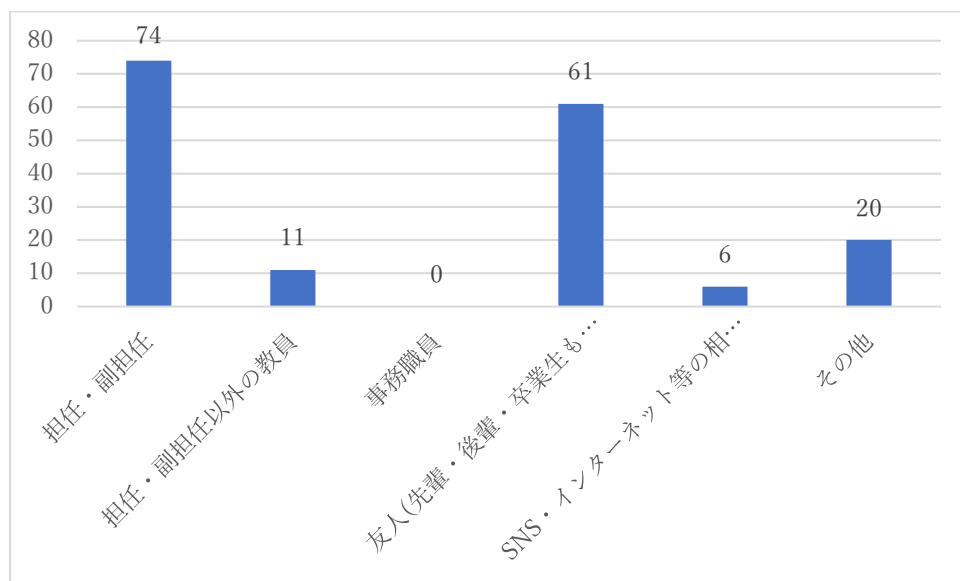
36. 本学の就職のサポート体制に満足していますか

サポートを受ける学年では4割の学生は就職のサポート体制に満足しており、2割は満足していなかった。



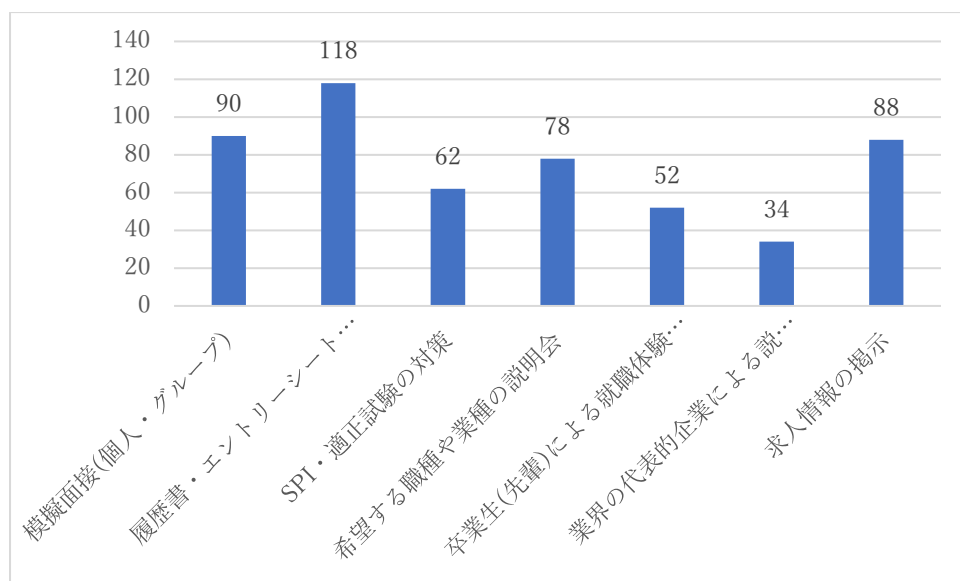
37. 就職の相談は誰にしますか

就職の相談相手は、1番が担任副担任、2番が友人で、両方合わせて8割近くを占めている。



38. 本学の就職のサポート体制に対してどのようなことを希望しますか(複数回答可)

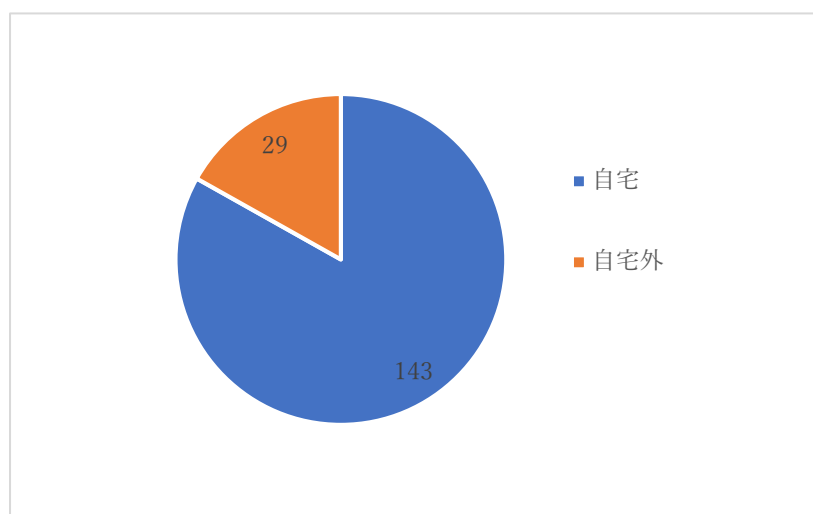
就職のサポートで希望することは、履歴書等の書き方、模擬面接が多く合否に直接関係する内容であった。



第Ⅶ章 住居・通学

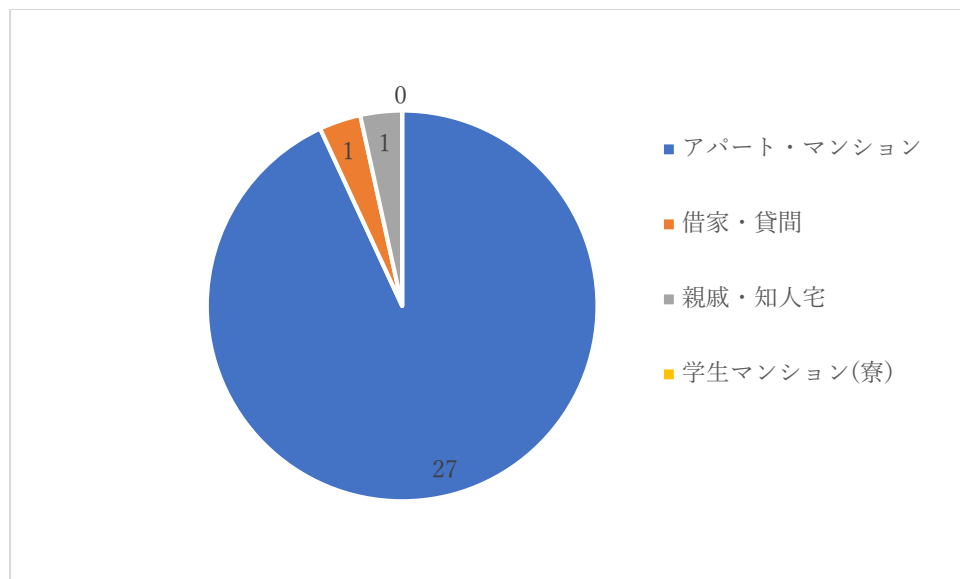
39. 住んでいるのは自宅ですか。自宅以外ですか

8割の学生は自宅から通学していた。



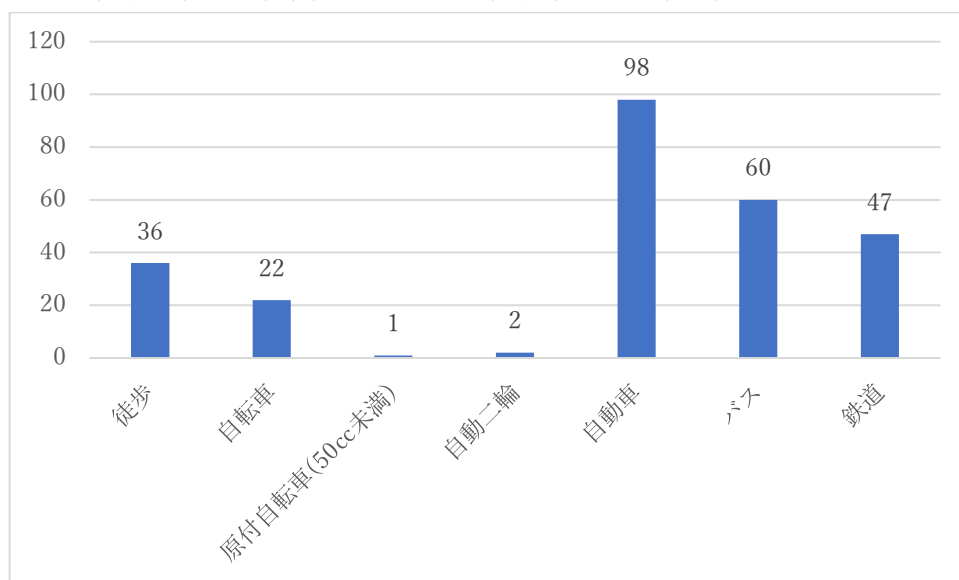
40. 自宅以外なら、どのような所ですか

通学が自宅以外と回答した学生のうち、ほとんどがアパート・マンションと回答した。



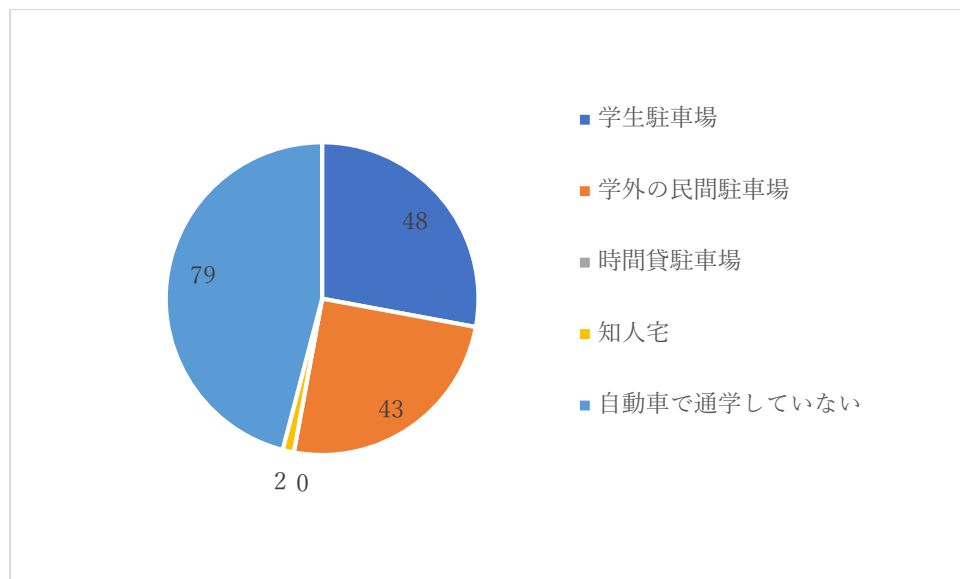
41. 本学まで主にどのような交通手段を使っていますか(複数回答可)

複数回答可の設問ではあるが、自動車での通学が多くなっており、次点でバスでの通学となっている。



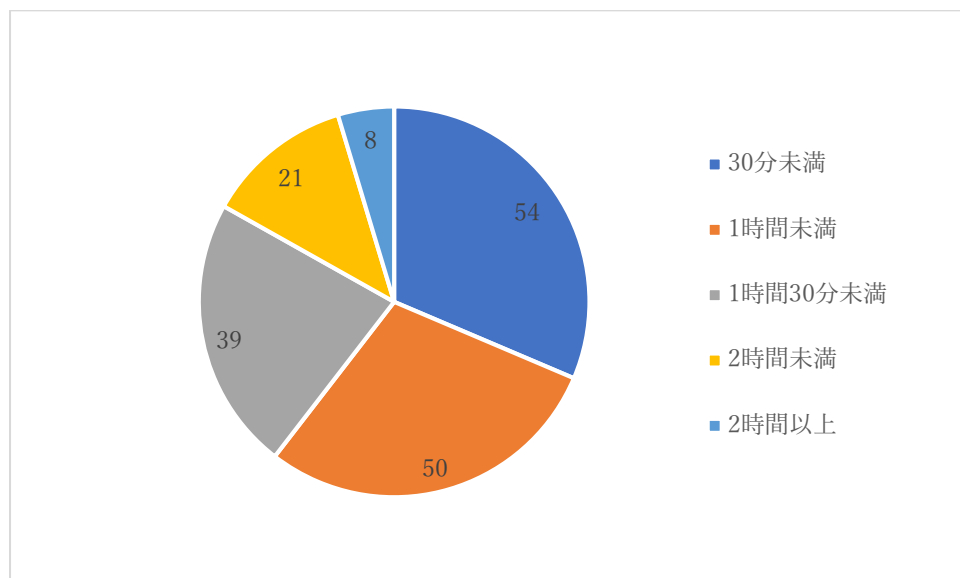
42. 自動車で通学している場合、どこに駐車していますか

学生駐車場と大学近郊の民間駐車場を借りている比率は概ね半々であった。



43. 通学にかかる片道の所要時間はどれくらいですか

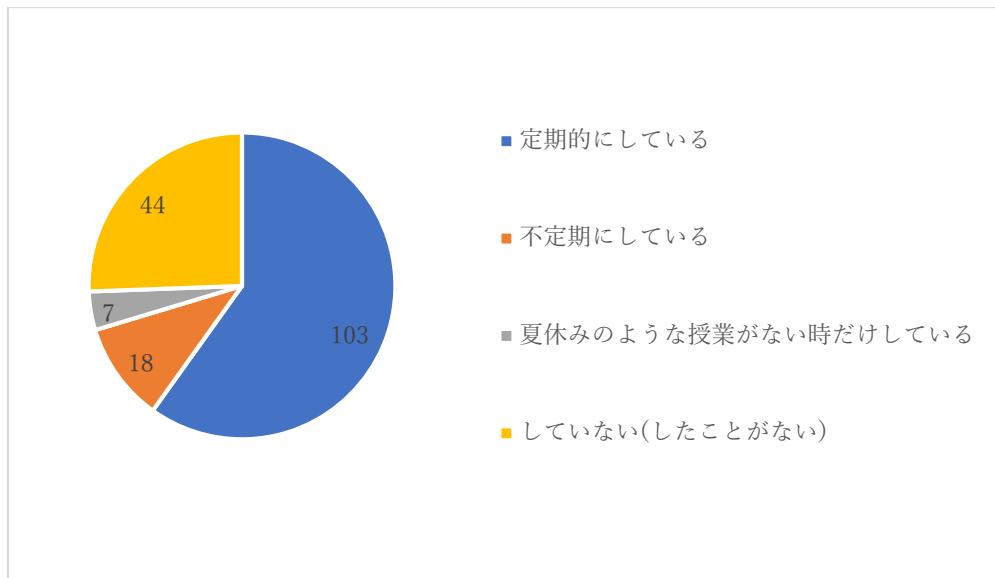
30 分未満と 1 時間未満が多く、大学の近郊に居住地があると思われる。



第Ⅷ章 アルバイト

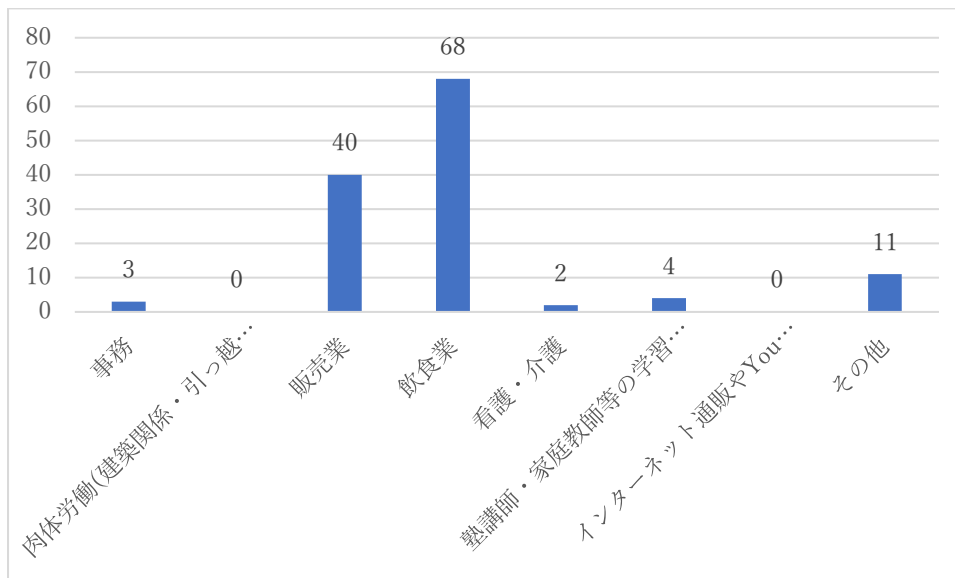
44. アルバイトをしましたか

大多数の学生がアルバイト経験を有している。



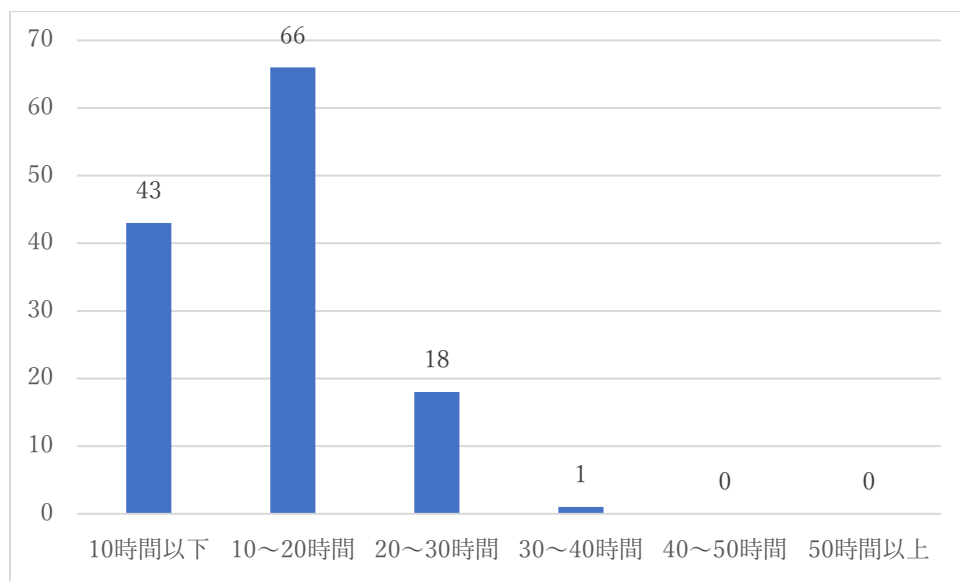
45. どのようなアルバイトをしていますか

回答者の多くが飲食業・販売業に従事している。



46. アルバイトは1週間の平均で何時間くらいやっていますか

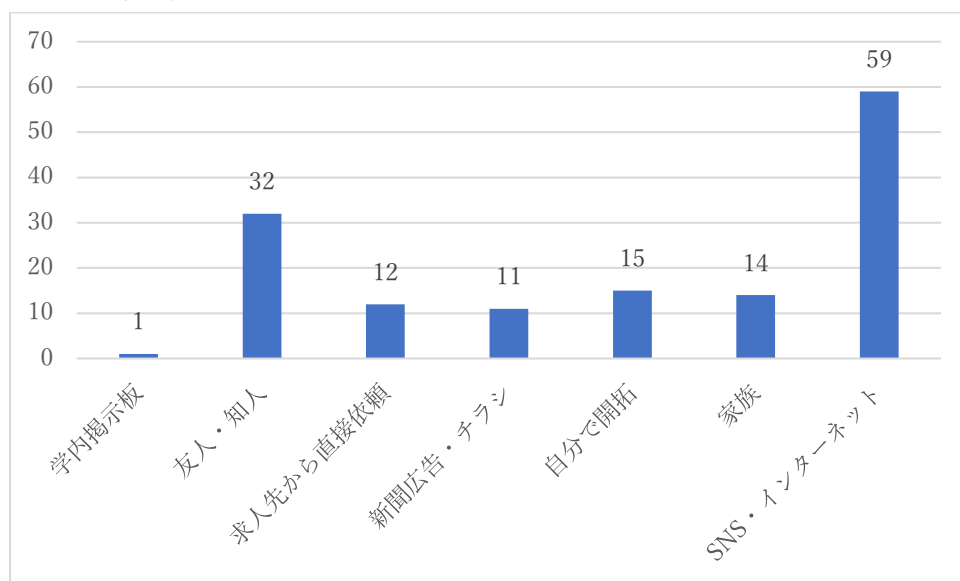
アルバイトをしている学生のほとんどは1週間に20時間以下である。



47. どこでアルバイト先を見つけましたか(複数回答可)

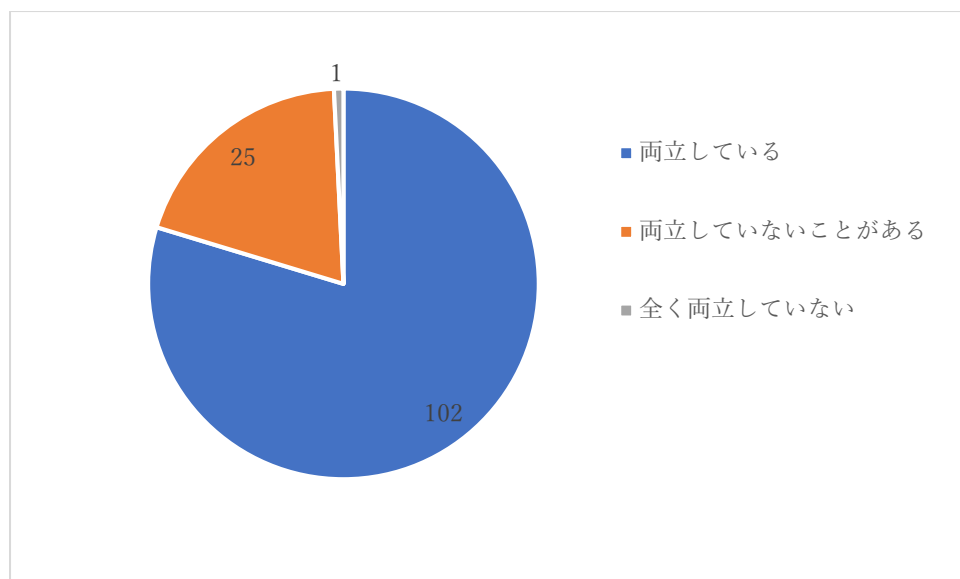
アルバイトをしている学生のほとんどはSNS・インターネットでアルバイト先をみつけている。

また、次いで多いのが友人・知人からの紹介である。学内掲示板を利用してアルバイト先をみつけた学生が最も少ない。



48. アルバイトと学業は両立していますか

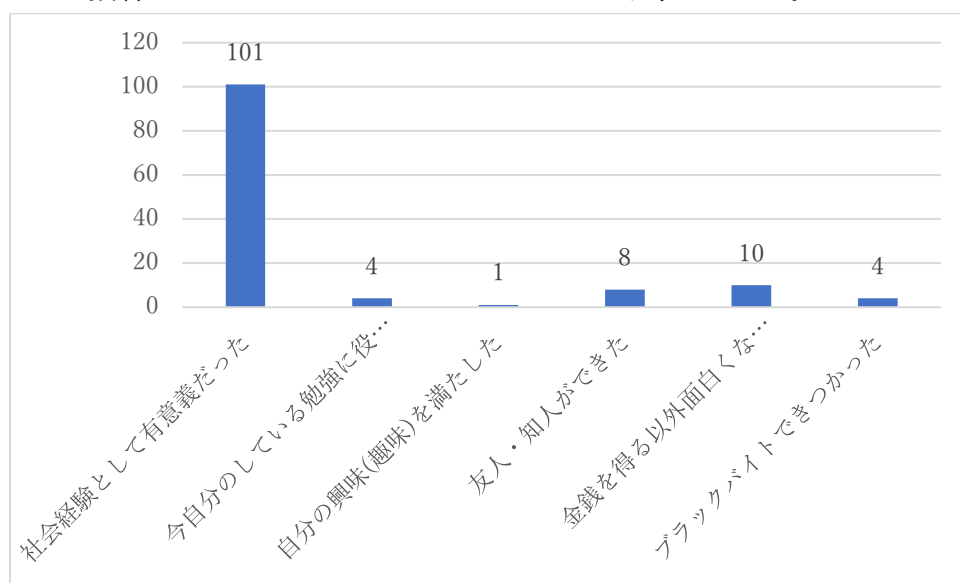
アルバイトをしている学生のほとんどは学業との両立ができていると答えている。



49. アルバイトをしてどうでしたか(複数回答可)

アルバイトをしている学生のほとんどは社会経験として有意義であったと回答している。

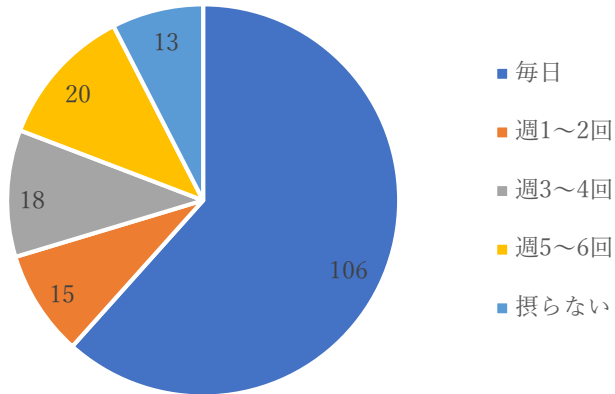
数名であるがブラックバイトであったという学生もいた。



第IX章 食生活

50. 朝食を摂っていますか

毎日朝食を摂っているという学生が過半数を占めているが、1割程度は摂らない学生もいる。

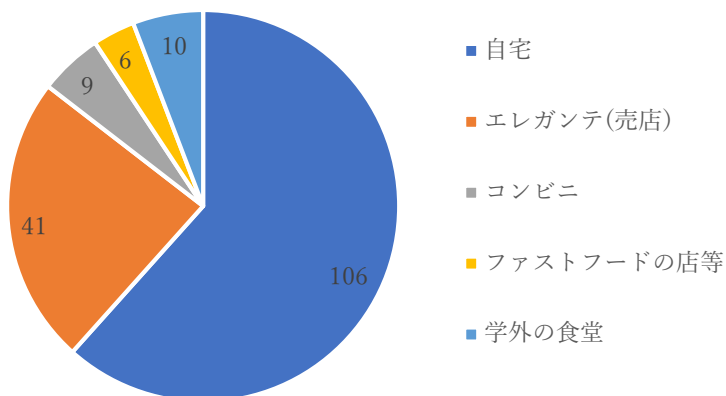


51. 朝食を摂らない理由は何ですか

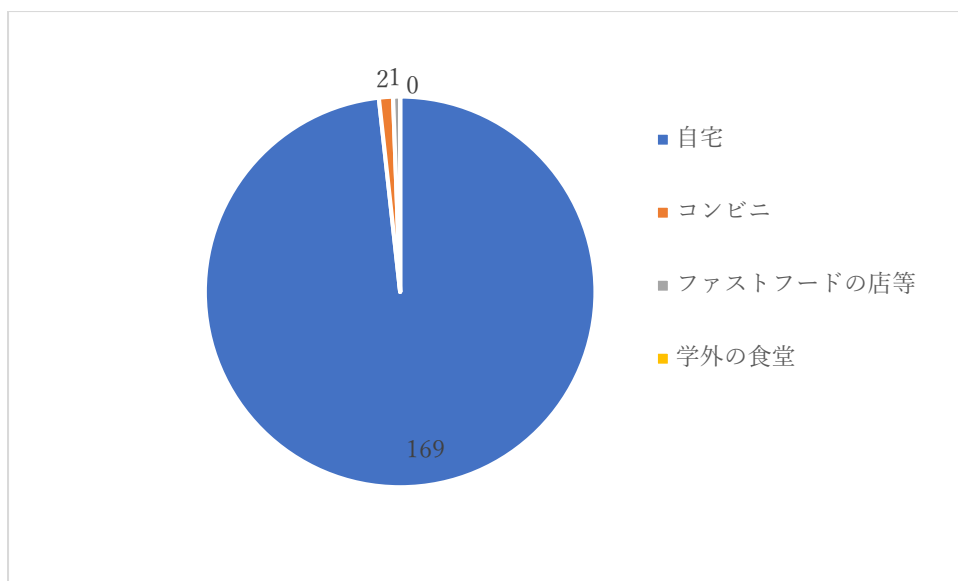
回答のすべてがその他で理由がわからない。

52. 昼食は主にどこで摂っていますか

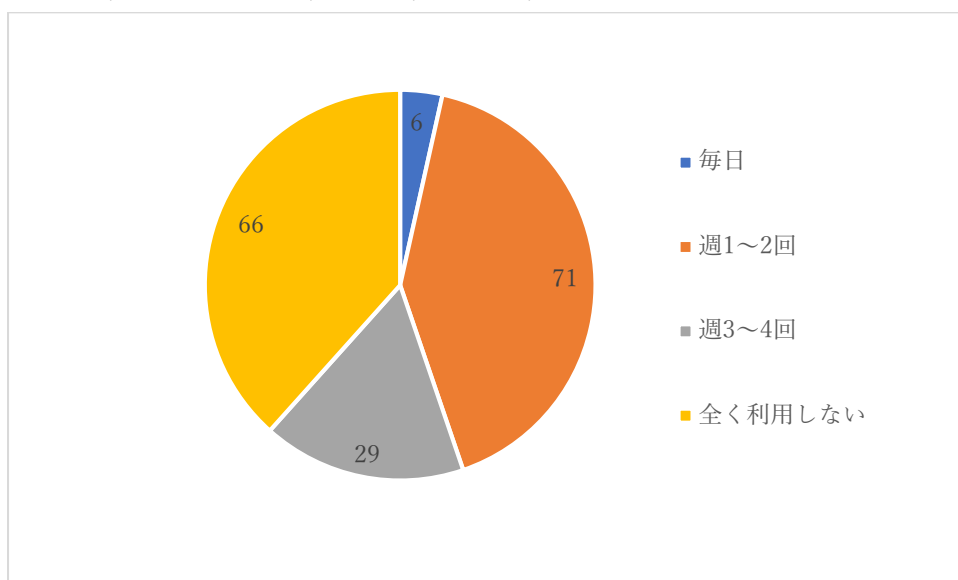
6割が自宅、3割がエレガンテ（売店）で摂っていた。



53. 夕食は主にどこで摂っていますか
ほぼ全員が自宅で摂っていた。

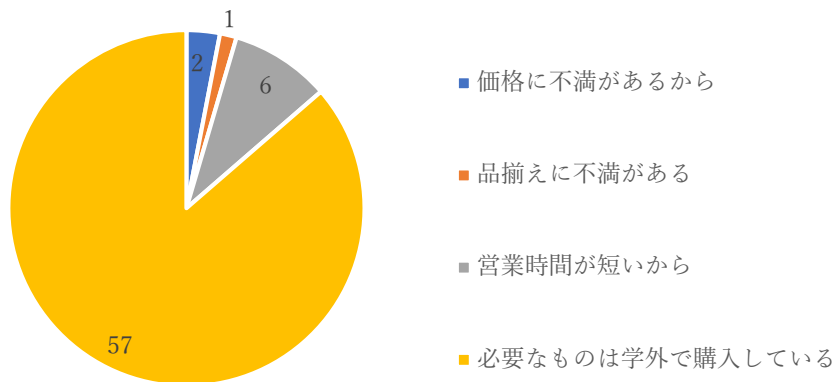


54. エレガンテ(売店)は週にどれくらい利用していますか
6割が週1回以上利用、4割は全く利用していなかった。



55. エレガンテ(売店)はどうして利用しないのですか(複数回答可)

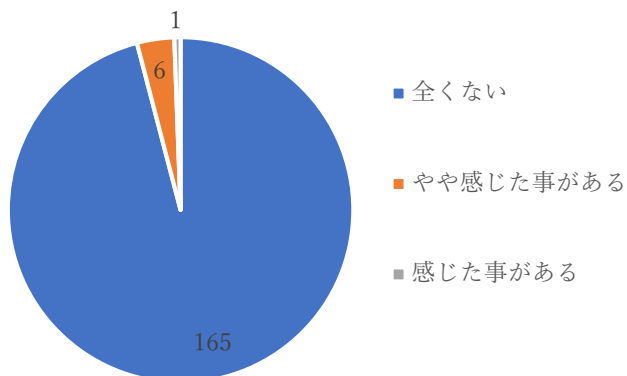
8割以上の学生が必要なものは学外で購入していた。売店は営業時間の短さ、品ぞろえ、価格に不満があった。



第X章 その他

56. 本学は自由に外部の人が出入りできるようになっていますが、それによって身の危険や不安を感じたことがありますか(大学周辺も含む)

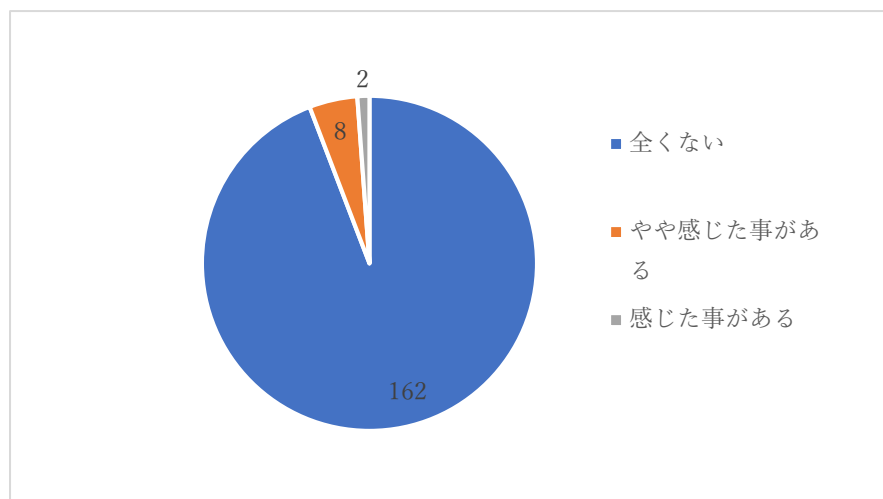
多くの学生が身の危険はないと感じている。



57. どこで、危険や不安を感じたか具体的に記入してください

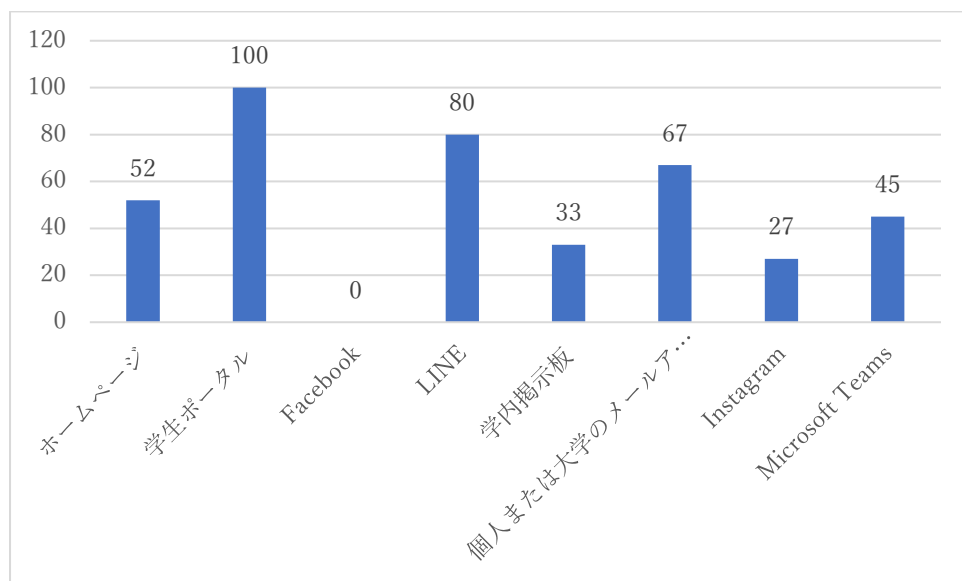
少人数であるが、身の危険を感じたとい学生は学外で感じている。

58. ジェンダーバイアス(男女の違いによって生じる偏見、評価や差別)を感じたことがありますか
ジェンダーバイアスを感じている学生も 2 割程度いる。



59. どのような場面で感じたか具体的に記入してください
場面がその他になっており、具体的な場面がわからない。

60. 大学からの学生への情報の発信の媒体として何がいいと思いますか(複数回答可)
学生ポータルが 100p であったが、使用されていない LINE が 80p を指していることから、ポータル以外の媒体も求められている。



61. 桐生大学内の生活の中で、大学に対して改善してほしい点がありますか(特にない場合は特になしと記入してください)

スクールバスコロナ対応、学科棟管理、学生ポータルの情報発信、売店の体制、10 号館前外構などについて改善要望あり。

62. 桐生大学内の生活の中で、不満に思うことはありますか(特にない場合は特になしと記入してください)
対面授業罹患した場合、設備不具合、卒業式の親対応、土日の図書館使用、リモート授業などについて不満がある。

63. 協力ありがとうございました。意見などがあつたら、記入してください(特にない場合は特になしと記入してください)
- 同窓会費や卒業期振興費など金銭に関して不明瞭で保護者とともに不信感を抱いているという意見などがある。

卷末資料

1. 委員会構成メンバー

学生委員会

岩田 昇	医療保健学部看護学科	学生委員会委員長
山本 博一	短期大学部アート・デザイン学科	学生委員会副委員長
丸本 真理	医療保健学部看護学科	
中村 郁美	医療保健学部看護学科	
川上 智史	医療保健学部栄養学科	
大野 治美	医療保健学部栄養学科	
関谷 果林	医療保健学部栄養学科	
古賀 裕子	別科助産専攻	
井桁 千恵子	短期大学部生活科学科	
鹿山 未優	短期大学部生活科学科	
寺村 サチコ	短期大学部アート・デザイン学科	

事務

小川 由紀子	教務・学生課主任
阿部 康弘	総務課兼入試広報課主任
島宮 拓也	教務・学生課学生係職員

2022 年度調査に向けての総括

本調査は、令和3年度の学生生活実態調査の結果をまとめたものである。学生生活実態調査については、桐生大学・桐生大学短期大学部としては、今回が2回目となる。

桐生大学医療保健学部は、看護師や管理栄養士養成に特化している。日々の講義や実習、実験等で多くの時間を費やし、それ以外に国家試験合格のための勉強を重ねていくため、サークル活動やボランティア活動など、大学生として同年代の若者との交遊を広げる機会が、なかなか持てない状況がうかがえる。

短大部では、アート・デザイン学科と生活科学科で、専門分野が異なるものの、それぞれ実技や実験、実習等が多く、大学の授業以外に多くの時間を充てられない現状がうかがえる。

大学・短大ともに長期休暇などを利用し、学生たちの交遊の場をつくっていくことが望まれる。

勉強する場所については、笠懸キャンパスに図書館があり、2階には学習スペースが確保されている。しかし図書館については一部の学生のみ利用するのみで、多くの学生が未利用の状況がうかがえる。今後、図書館や教職員の手引きにより、図書館利用の促進を図ることが必要と思われる。

大学から学生への連絡手段として、大学のHPに加え、学生ポータルシステムなど通信技術を活用することが日常のこととなりつつある。アンケート調査結果からも、学生がどのような媒体から大学からの連絡等を受けているのかが、はっきりと出ている。本学でもますます通信設備を充実させていくことが求められていると痛感させられる。

本調査の実施にあたり、学生系の職員をはじめ、各学科の学生会のメンバーにはアンケート項目の検討や集計等でたいへんお世話になった。記して御礼申し上げたい。

次年度以降も、今回の調査項目等を生かし、必要に応じて質問項目等を増やし、より充実したものにしていきたい。その結果を、学生の生活支援等に生かしていきたいと考えている。

2021年3月31日

学生委員会委員長
医療保健学部看護学科
岩田 昇